

Senior High School

高校 1

年間学習計画

2020 Syllabus



吉祥女子中学・高等学校

年間学習計画

2020 Syllabus

	「年間学習計画(シラバス)」の内容と使い方	1
	教育課程と時程	2
	国語	3
	地理歴史	9
	公民	15
	数学	21
	理科	29
	英語	35
	保健体育	43
	音楽	49
	美術	53
	家庭	57
	情報	61

[参考]

〈2020(令和2)年度入学生高等学校教育課程〉

「年間学習計画(シラバス)」の内容と使い方

「年間学習計画(シラバス)」には各教科の教育課程のほか「学習の目標」「学習の内容」「学習の進め方」「学習計画」が記されていて、中学1学年から高校1学年までの各学年ごとに配布されます。高校1年生の2学期には、高校2年生からの進路選択〈文系・理系・芸術系〉に関するガイダンスがあり、各教科の内容、単位数、必修選択授業などの説明があります。その説明をふまえて、それぞれが自分の希望する系に進むことになります。また、高校2年生の2学期には高校3年生からの各教科の内容、単位数、自由選択授業などの説明があり、それぞれの進路達成に向け、科目選択を行います。また、文系は国公立文系・私立文系の選択も行います。

◎本冊子により

- ・1年間、どのようなことを学習しようとしているのか。
- ・今、学んでいることが上級学年にどのようにつながっているのか。
- ・授業がどのように行われるのか。
- ・自宅学習はどのようにすればよいのか。

などがわかります。それらについては、担当の先生から随時説明がありますので、本冊子を有効に活用してください。また、「学習計画」を見ると次の定期考査までの授業の進度がわかります。自分が勉強している項目を随時チェックして、定期考査への計画的な勉強に役立ててください。

なお、「学習計画」については、授業の進み具合や授業時数により、実際の進捗とは異なり、定期考査の範囲も変更になる場合があります。

○本冊子の収録学年と構成

- ・本冊子は高校1年生の「年間学習計画(シラバス)」ですが、保健体育については高校1年生～3年生、家庭、情報については高校2年生の内容が記されています。
- ・国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語については「学習の目標」「学習の進め方」「学習計画」で構成されています。「6カ年の学習内容」については中学で配布された「年間学習計画(シラバス)」に記載されていますので、参照してください。保健体育、音楽、美術、家庭、情報については「学習の目標」「学習の内容」「学習の進め方」「学習計画」で構成されています。

◆ 2020年度 定期考査の日程

学期	考査名	期 間	考査名	期 間
1学期	第1回定期考査	5月22日～5月26日	第2回定期考査	7月4日～7月8日
2学期	第3回定期考査	10月20日～10月23日	第4回定期考査	12月9日～12月12日
3学期	第5回定期考査	3月5日～3月9日		

〈時 程〉

	平 常	短 縮	定期考査
予 鈴	8 : 25	8 : 25	な し
朝 礼	8 : 30～	8 : 30～	9 : 15～
1 時 限	8 : 40～9 : 30	8 : 40～9 : 20	9 : 30～10 : 20
2 時 限	9 : 40～10 : 30	9 : 30～10 : 10	10 : 35～11 : 25
3 時 限	10 : 40～11 : 30	10 : 20～11 : 00	11 : 40～12 : 30
4 時 限	11 : 40～12 : 30	11 : 10～11 : 50	1 : 00～1 : 50
昼 休 み	12 : 30～1 : 20	11 : 50～12 : 30	
予 鈴	1 : 15	12 : 25	
5 時 限	1 : 20～2 : 10	12 : 30～1 : 10	
6 時 限	2 : 20～3 : 10	1 : 20～2 : 00	

国 語

地理歴史

公 民

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

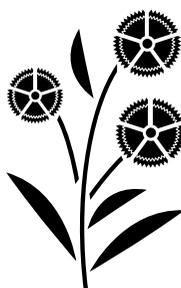
美 術

家 庭

情 報

国 語

Syllabus 年間学習計画



1. 学習の目標

- ・近代以降の様々な文章を読み、その内容を的確に理解する能力を高める。
- ・書き手の意図を的確にとらえ、表現を味わう。
- ・文章を批評し、自己の考えを論理的に表現する能力を高める。
- ・自己の考えを目的や場面に応じて的確に話す能力を高める。
- ・社会の諸問題に関心を抱き、適切な手段とツールで情報を収集・分析する能力を高める。
- ・語句の意味を的確に理解し、語彙を豊かにして自己の表現に役立たせる。
- ・古典の正確な読解を通し、古典についての理解を深め、伝統文化や中国文化への関心を高める。

2. 学習の進め方

予習を前提として授業を進める。

「現代文」では、扱う文章をあらかじめ読み、意味調べをし、新出の漢字をノートに書き出す。授業において、論理性・抽象性の高い文章ではそれを要約したり、自己の考えをまとめることで理解を定着させる。文学的文章では、表現を味わい、読後感をまとめる。

古文は原文をノートに書き写し、古語辞典を使って古語の意味を調べ、口語訳をほどこす。音読も行う。

漢文は原文をノートに書き写し、書き下し文にする。漢和辞典を使って口語訳をほどこす。音読も行う。

古文・漢文とも問題集を使用し、問題演習をする。文語文法や古文単語、漢文句形の小テストを実施し、古典読解に必須の知識の定着を図る。

3. 学習計画（1）

教科	国語	科目	国語総合(現代文)	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材	『精選国語総合現代文編改訂版』筑摩書房 『常用国語便覧』浜島書店 『漢字プラス語彙 2040』尚文出版 『論読現代文2』浜島書店					

時期	単元	単元の内容
1学期 4月	「バラは暗闇でも赤いか？」 「トロンボーンを吹く女子学生」	<ul style="list-style-type: none"> ・論理展開に注意しながら、論理的文章の読み方を学ぶ。 ・表現の特色を捉え、言葉に対する視野を広げる。
5月	「羅生門」 【第1回定期考査】	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の枠組み、登場人物の心理や思考に注意しながら文学的文章の読み方を学ぶ。 ・描写や表現技巧を整理し、全体の構造とその効果を考える。
6月	「デジタル社会」 「ことばとは何か」	<ul style="list-style-type: none"> ・論理展開に注意しながら、論理的文章の読み方を学ぶ。 ・筆者の問題意識を理解する。
7月 1学期 予定時数	短歌 俳句 【第2回定期考査】	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌・俳句についての知識を深める。 ・短歌・俳句の表現を味わい、理解する。
2学期 9月	「環境と身体」 「主体という物語」	<ul style="list-style-type: none"> ・文章のテーマを理解し、展開と論旨を的確に追う。 ・段落ごとの論旨を正確に捉えながら全体の構成をつかみ、論理的な思考を養う。

10月	詩 【第3回定期考査】	<ul style="list-style-type: none"> ・詩を味わうことによって、言語感覚を磨き、豊かな感受性を育む。
11月	「夢十夜」	<ul style="list-style-type: none"> ・時代背景を理解しながら、人物の心情や情景描写を読み味わう。
12月	「来るべき民主主義」 「演じられた風景」 【第4回定期考査】	<ul style="list-style-type: none"> ・文章のテーマを理解し、展開と論旨を的確に追う。 ・物事を捉える新たな視点に学び、自分の考えを深める。
2学期 予定時数 _____		
3学期 1月	「棒」	<ul style="list-style-type: none"> ・人物の心情や情景描写を読み味わう。 ・心情の変化を読みとる。
2・3月	「マルジャーナの知恵」 「ものさし」の恍惚と不安 【第5回定期考査】	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的文章の性質や展開を理解する。 ・筆者の考えをもとに自身の考えを深める力を養う。
3学期 予定時数 _____		

3. 学習計画（2）

教科	国語	科目	国語総合(古典)	週あたりの授業時数	3時間	担当
使用教材	『精選国語総合古典編改訂版』筑摩書房 『六訂版 古典文法ノート読解演習編』数研出版 『常用国語便覧』浜島書店 『基礎から解釈へ 新しい古典文法 四訂新版』桐原書店 『必携新明説漢文』尚文出版 『読んで見て覚える重要古文単語 315 三訂版』桐原書店					

時期	単元	単元の内容
1学期 4・5月	『徒然草』 「神無月のころ」 「あだし野の露」	<ul style="list-style-type: none"> 古文の読解に必要な用言・助動詞の用法についての理解を深める。 古文の読解に必要な単語を身につける。 助詞の用法を学ぶ。
	「塞翁馬」 【第1回定期考査】	<ul style="list-style-type: none"> 句形や訓読法を学びながら、漢文の読解力を身につける。
6・7月	『方丈記』 「養和の飢饉」	<ul style="list-style-type: none"> 古文の読解に必要な用言・助動詞の用法についての理解を深める。 古文の読解に必要な単語を身につける。 助詞の用法を学ぶ。
1学期 予定時数 _____	「管鮑之交」 【第2回定期考査】	<ul style="list-style-type: none"> 句形や訓読法を学びながら、漢文の読解力を身につける。

<p>2学期 9・10月</p> <p>『土佐日記』 「帰京」 『竹取物語』 「かぐや姫の昇天」 「刺客荊軻」 【第3回定期考査】</p> <p>11・12月</p> <p>『伊勢物語』 「芥川」 「筒井筒」 「完璧」 「死諸葛走生仲達」 【第4回定期考査】</p> <p>2学期 予定時数 _____</p>		<p>〔古文〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な読解力を身につける。 ・敬語の用法を学ぶ。 ・和歌の修辞についての理解を深める。 <p>〔漢文〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・句形や訓読法を学びながら、読解力を身につける。 ・史伝の歴史的背景について知識を得る。
<p>3学期 1月</p> <p>『徒然草』 「花は盛りに」 「雑説」</p> <p>2・3月</p> <p>『平家物語』 「木曾の最期」 「売油翁」 【第5回定期考査】</p> <p>3学期 予定時数 _____</p>		<p>〔古文〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な読解力を身につける。 ・助詞や敬語の総まとめを行う。 <p>〔漢文〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・句形や訓読法を学びながら、漢文の読解力を身につける。

地理歴史

Syllabus

年間学習計画



国語

地理歴史

公民

数学

理科

英語

保健体育

音楽

美術

家庭

情報

1. 学習の目標

高1の地理歴史では世界史Aを履修しますが、実質的には高2の世界史B（中世史以降）の学習につながるよう、古代史をじっくりと学習していきます。

世界史は高校に入って初めて学習する科目で、ほとんどの皆さんは不安と期待が入り交じった状態で授業に臨むはずです。古代史は、当然ながら歴史学習の始まりという点で、その理解度が今後の学習に大きな影響を与えます。また日進月歩の研究や調査によって次々と新しい事実が明らかになっていくという点で、現代史とはまた異なった顔を持っています。そこで授業担当者としては、覚えてほしいこと、理解してほしいことをふまえつつ、歴史学習、特に世界史学習の面白さを伝えていき、皆さんに是非興味を持ってもらいたいと思っています。

また、世界史の学習には基礎的な世界地理の知識が必要とされますし、世界史には日本の歴史も含まれますから、中学の歴史で学習した内容が出てくることもあります。さらに、文化史の一部は公民科の倫理と、高3で習う戦後史の概要は政治・経済とも重複しています。このように世界史は他の地歴・公民科の科目と深いつながりをもっていますから、究極的には古代から現代までの世界と日本を縦横無尽に俯瞰できる視野と思考力をつけてもらうため、世界史をその中核に据えらえるようになることを目標に掲げたいと思います。

2. 学習の進め方

① 授業

世界史については、予習よりも授業への集中や復習を重視してください。とはいえ、まったく予習をしないと授業で得られることも少なくなってしまうかもしれません。もし次の授業で進みそうな範囲について教科書などを一読し、ある程度の流れをつかんでくれば、「これはどういうことなのだろう」「どうしてこうなるのだろう」といった疑問もわくでしょうし、そうした問題意識を持って授業に臨んだほうが、そうしない人よりも多くのものを、より深く得ることができます。

また、授業中は担当者の板書をただ書き写すだけではなく、説明や雑談なども集中して聞き、どんどんメモを取って、自分だけのノートをつくっていくようにしましょう。また、授業の内容で何か疑問が生じたら、早めに担当者に質問して解決してください。

② 自宅学習

週に2時間授業がありますから、できるだけ毎回の授業後に復習の時間を十分に取らしましょう。副教材の『タペストリー』に載っている図版をコピーして貼ったり、授業のプリントやノートをまとめ直したり、教科書の音読などをすると効果的です。ただし、こうした“作業”自体が目的になってしまつては本末転倒です。あくまでも、学習したことを定着しやすくするための復習をしているという目的を忘れてはいけません。

また、歴史というものはただ試験に出ることだけを覚えればいいわけではありません。ですから、世界史に関連する書籍や雑誌を読んだり、テレビ番組を見たりして、世界史そのものにも自分から興味を持って接してみてください。一方で、定期考査では単にノートだけ覚えていれば解けるような問題ばかりは出題されません。したがって、教科書や副教材を使ってノートの内容を補ったり、担当者から紹介される参考書を読んだり問題集を解いたりして、積極的に発展的な学習に取り組みましょう。歴史学習については「覚えられない」と悩む人がとても多いのですが、歴史が得意な人はこのような取り組みをコツコツと続けている人が多いように思います。

3. 学習計画

教科	地理歴史	科目	世界史	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材	『新詳 世界史B』帝国書院 『最新世界史図説 タペストリー』帝国書院					

時期	単元	単元の内容
1学期 4月	序. 先史の世界 ① 人類の進化 ② 文明への歩み	①では、猿人から新人までの進化の過程を学習する。 ②では、人類が獲得経済から生産経済に移行したことを契機に、文化の洗練や都市国家の形成に至った流れを理解する。
5月	I. オリентと地中海世界 1. 古代オリент世界 ①メソポタミア ②エジプト ③地中海東岸	①と②では、地形等の理由からメソポタミアでは複雑な歴史が、エジプトでは単調な歴史が展開されたという概略をふまえ、その経緯を理解する。 ③では、「海の民」侵入後の大国の衰退により、主にセム語系諸民族が特色ある活動を展開したことを把握する。
6月	【第1回定期考査】 ④オリентの統一	④では、アッシリアとアケメネス朝の統治方法を、両者の比較を通じて理解する。
7月 1学期 予定時数 _____	2. ギリシア世界 ①エーゲ文明 ②ポリスの成立と発展 ③ペルシア戦争とアテネ民主政 【第2回定期考査】	①では、クレタ文明とミケーネ文明の性質の違いを理解する。 ②では、スパルタがとった軍国主義的体制の内容と背景、およびアテネの民主政が発展していく過程と背景を理解する。 ③では、ペルシア戦争の経緯を学習し、その後に完成したアテネ民主政の特徴を今日の民主政との比較のもとに理解する。

<p>2 学期 9 月</p> <p>10 月</p>	<p>④ポリス社会の崩壊</p> <p>⑤ギリシア・ヘレニズム文化</p> <p>3. ローマ世界</p> <p>①共和政ローマ</p> <p>②ポエニ戦争</p> <p style="text-align: center;">【第 3 回定期考査】</p>	<p>④では、ギリシア世界の慢性的な戦乱により市民皆兵の原理が崩壊したことと、アレクサンドロス大王が築いた大帝国の概要を把握する。</p> <p>⑤では、ギリシア文化の人間的・現世的特点を、具体的な事例をふまえて理解する。</p> <p>①では、都市国家ローマにおける身分闘争を説明しながら、アテネ民主政の発展過程との共通点・相違点を押さえる。</p> <p>②では、対外侵略戦争によって貧富の格差が広がり、社会不安が増大したことを理解する。</p>
<p>11 月</p>	<p>③内乱の一世紀</p> <p>④帝政ローマ</p> <p>⑤ローマ文化とキリスト教</p>	<p>③では、②をふまえて具体的に起こった事件などを把握する。</p> <p>④では、前期帝政と後期帝政に分けて、政治体制や社会・経済を中心に相違点を理解する。</p> <p>⑤では、ローマ文化がギリシア文化の模倣であった点と実用に長けていた点を、具体的事例をふまえて把握する。また、キリスト教の成立と発展の過程を詳細に理解する。</p>

12月	II. アジアの古代文明 1. イラン文明	メソポタミアとのかかわりをもった、パルティア以前のイラン史の概観から入り、ヘレニズムの影響を受けたパルティアと、イラン伝統文化の復興を目指したササン朝の性格の違いを押さえる。また、ササン朝文化の日本への伝播についても実例をふまえて理解し、古代史と日本とのつながりを意識する。
	2. インドの古代文明 ①インダス文明 ②アーリヤ人社会の形成 ③インド古代国家の変遷 ④南インドの王朝 【第4回定期考査】	①では、インダス文明の特徴を大まかに理解する。 ②では、今日のインドにも大きな影響を与えている、アーリヤ人が形成した身分制度や宗教について学習する。 ③では、マウリヤ朝からヴァルダナ朝までの統一国家の変遷を理解する。 ④では、近年研究が進みつつある南インドの諸王朝について、大まかな特徴と王朝名を把握する。
2学期 予定時数 _____		
3学期 1月	3. 東南アジアの諸文明	古くから海上交易において重要な位置を占めてきた東南アジア世界の形成について、地図などを併用しながら正確に理解していく。
2月	4. 中国の古典文明 ①中国文明 ②殷・周 ③春秋・戦国時代 ④秦・漢	①では、黄河文明のみならず長江文明にも焦点をあてて、概要を把握する。 ②では、中国古代王朝の支配の特徴を理解する。 ③では、周王の権威が低下する中で、特に社会経済の変動や新思想の概要を重点的に理解する。 ④では、秦漢帝国の支配の特徴と概要を、対外交渉などもふまえながら理解する。
3月	5. アメリカの古代文明 【第5回定期考査】	アメリカ大陸で栄えた独自の古代文明の特徴を理解する。
3学期 予定時数 _____		

国語

地理歴史

公民

数学

理科

英語

保健体育

音楽

美術

家庭

情報

公民

Syllabus

年間学習計画



1. 学習の目標

中3次に学習した現代社会の内容を引き継ぐ形で、日本国憲法と日本の政治機構、政党政治と選挙制度など、政治制度の学習を進めるとともに、市場メカニズムや国民所得など、現代経済のしくみを学ぶことで、社会に生きる「公民」たるに必要な、政治・経済に関する最低限の素養を身に付けることを目標とします。その上で、現在世界や日本で起こっている政治・経済上の諸問題の原因と影響を理解し、自分なりの意見を表明できる力を養うことを重視します。また、中3の現代社会、高1の政治・経済、高2の倫理の学習を通じて、自らの将来の生き方について考えるとともに、女性として、人間として自立していく基礎を築くことも目的とします。

政治・経済の学習は、現代社会および倫理とともに、将来社会科学系の諸学問、とりわけ政治学・法学・経済学・経営学などを志す人にとって、大学での学びの予備知識となる意味で重要な意義を持っています。ただ、制度や理論の学習にとどまらず、歴史的な考察を加える点で、世界史や日本史とも大きな関連を持っています。その意味で、高校で公民科と並行して学ぶ地理歴史科の諸科目とも相互に補い合う点が大いと言えるでしょう。総じて、政治・経済の学習が、単に受験勉強にとどまらず、広い意味での「社会」をさまざまな観点からとらえる一助となることも目指しています。

2. 学習の進め方

① 授業

資料集を補助教材として、授業プリントを中心に展開します。必要に応じて新聞記事のコピーを配布してその内容を紹介します。授業の基本は「よく聞き」、「よく読み」、「よく考える」ことですが、授業では受動的な姿勢ではなく、担当者からの問いかけに対して自分の意見を表明する能動的な姿勢も要求されます。さらに、中3次に引き続き、生徒各人が最低1回、新聞から興味を抱いた記事を取り上げ、要約と感想をまとめて授業のはじめに発表することで、座学だけではなく、政治・経済上の諸問題への理解と関心を深める活動を積極的に進めていきます。

② 自宅学習

事前に教科書を読んで学習内容を予習するに越したことはありませんが、プリントや資料集などを利用して、毎回の授業内容をその日のうちに復習することが重要です。また、中3現代社会の学習と同様に、毎日ニュースを見る、新聞を読むことを日々の課題とします。「なぜだろう」「どうなっているのだろう」といった素朴な問いをきっかけに、何事にも好奇心を持ち、日々世の中で起こっている出来事に対して問題意識を持つことが何よりも大切です。

3. 学習計画

教科	公民	科目	政治・経済	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材	『高等学校 政治・経済』第一学習社 『政治・経済資料』東京法令出版					

時期	単元	単元の内容
1学期 4月	(中3現代社会からの続き) II. 政治分野 6. 平和主義	戦後の国際政治の流れを概観した上で、日本国憲法の三大原則の一つである平和主義について学ぶ。平和主義の精神について考察を深めた後、戦後日本の安全保障政策と憲法解釈の変化を振り返る。特に、自衛隊、日米安保、在日米軍と憲法第9条の関係、改憲論について様々な考え方を学習する。また、冷戦後の国際貢献の在り方についても考察する。
5月	7. 日本の政治機構 ①日本の政治機構の特徴	日本の政治機構について、その制度を概観する。特に、日本の政治機構における三権分立と三権相互のチェック&バランスについて考察を深める。
	②国会 【第1回定期考査】	国権の最高機関たる国会について、その権限、二院制の意義、具体的な立法過程などについて理解を深めつつ、近年の国会改革やねじれ国会について考察する。
6月	③内閣と行政機構の拡大	行政権を司る内閣について、戦前の内閣との比較を通じて議院内閣制のしくみを学び、立法権との関係について考察を深める。また、行政機構の拡大による弊害について取り上げつつ、これまでの行政改革の流れとそれにともなう問題点についても理解を深め、大きな政府・小さな政府の議論を踏まえて国家のあるべき姿を考える。
	④裁判所	司法権の独立を裁判所の独立および裁判官の独立の二点において学ぶとともに、違憲立法審査権をはじめとする司法権の権限について理解を深める。また、民事裁判・刑事裁判・行政裁判の概要を押さえつつ、具体的な裁判の過程について考察する。その際、検察制度についても取り上げる。さらに、近年始まった裁判員制度や法科大学院の制度をはじめとする司法制度改革について、その意義と現状について考える。

<p>7月</p> <p>1学期 予定時数 _____</p>	<p>⑤地方自治</p> <p>【第2回定期考査】</p>	<p>「民主主義の学校」とも言われる地方自治について、その意義について触れた後、議決機関（議会）と執行機関（首長）の権限と関係について、国政との比較も交えながら考察する。その際、国政にはない直接請求権のしくみについて具体的に学ぶ。また、これまでの地方分権の流れについて、その成果と課題について考察を深める。</p>
<p>2学期 9月</p>	<p>8. 現代日本の政治 ①政党政治</p>	<p>政党の歴史と政党政治の具体的な姿について学んだ後、戦前・戦後の日本の政党政治を概観する。その際、族議員と圧力団体、利権政治など、政党政治にともなう諸問題についても考察する。</p>
<p>10月</p>	<p>②選挙制度</p>	<p>各選挙制度の長所・短所について触れた後、日本の選挙制度について、その変遷を振り返りながら詳細に取り上げる。また、選挙と政治資金に関するルールを考察するとともに、「一票の格差」の問題を法の下での平等の観点から考える。</p>
<p>11月</p>	<p>Ⅲ. 経済分野 1. 経済社会の変容 ①経済と経済社会</p> <p>【第3回定期考査】</p>	<p>そもそも労働とは何かという根本的な問いから出発し、人間の経済活動を財・サービスの生産・流通・分配という点からとらえる。</p>
<p>11月</p>	<p>②経済社会の発展</p>	<p>原始共同体から現代資本主義にいたるまでの経済発展の歴史を概観する。その際、社会主義経済や修正資本主義、新自由主義の台頭と近年のグローバリズムなどについても触れる。</p>
<p>11月</p>	<p>③経済思想の発展</p>	<p>資本主義の勃興期以降の経済学説・経済思想を、スミス・マルクス・ケインズ・フリードマンを中心に概観する。</p>
<p>11月</p>	<p>2. 現代経済のしくみ ①企業と市場機構</p>	<p>企業・家計・政府という経済の三主体について触れた後、生産活動の主体である企業のしくみについて、株式会社を中心にその特徴を押さえる。また、独占・寡占をはじめとする市場の失敗について考察するとともに、近年注目されつつある企業の社会的責任についても取り上げる。さらに、完全競争下での市場メカニズムについて、需要・供給の理論と価格の自動調節機能について学ぶ。</p>

<p>12月</p> <p>2学期 予定時数 _____</p>	<p>②国民所得と経済成長</p> <p>【第4回定期考査】</p>	<p>国富（ストック）と国民所得（フロー）の違いについて押さえた後、国内総生産・国内純生産・国民所得の理論を学ぶ。その際、環境や福祉の観点を取り入れた新しい経済指標についても取り上げつつ、経済成長を名目と実質の両面から把握する。また、物価変動と景気変動について、その原因と影響を考慮しつつ理解を深める。</p>
<p>3学期 1月</p> <p>2月</p> <p>3月</p> <p>3学期 予定時数 _____</p>	<p>③金融</p> <p>④財政</p> <p>【第5回定期考査】</p>	<p>貨幣と通貨について、多様化するその姿を理解した後、銀行の機能と信用創造を学ぶ。また、中央銀行と金融政策を日本銀行を例に取り上げるとともに、金融自由化から金融ビッグバン、バブル崩壊と金融再生、郵政民営化、金融業界の再編までを概観する。</p> <p>財政の役割と機能について、特にビルト＝イン＝スタビライザーと補正的財政政策による経済調整機能を中心に概観する。実際に国家予算（一般会計の当初予算）を元に歳入・歳出の特徴を把握するとともに、特別会計と財政投融资の問題点についても取り上げる。また、租税の徴収や公債の発行について、財政赤字と社会保障の問題と関連付けて考察する。</p>

国 語

地理歴史

公 民

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

美 術

家 庭

情 報

数 学

Syllabus

年間学習計画



1. 学習の目標

〈じっくり数学と向き合おう！〉

高校数学は、「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」という5科目に分かれています。このうち、みなさんは中学で「数学Ⅰ」「数学A」の内容をほぼ学び終え、今年度は「数学Ⅱ」「数学B」の内容を中心に学んでいくことになります。「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」は主として関数の考え方(これを数学では「解析」と呼びます)を深く学び、「数学A」「数学B」では主として図形や確率の考え方(これを数学では「幾何」「確率・統計」と呼びます)を深く学ぶこととなります。しかし、「解析」「幾何」「確率・統計」の分野はそれぞれ独立しているわけではなく、それぞれの分野が他の分野と密接な関連性を持っています。今年度学ぶ「数学Ⅱ」「数学B」の内容は、当然ながらその多くが新しい内容になりますが、昨年度までと同様に、これまでに学んだ考え方を発展させたものであるということは、すぐに実感できるでしょう。

また、高校で学ぶ数学では「答えが出るまでの過程が数学的に正しいか」「答えを導く過程を論理的に説明できるか」ということまで求められるようになっていきます。これは昨年度も意識してきたことであると思いますが、今年度はより一層意識してほしいと思います。高校数学では「答えがあっていればそれでよい」とはなりません。答えが出るまでの過程に論理的欠陥があれば、出てきた答えは疑わしいものになってしまいます。そのため授業でも「なぜこう考えたのか」「これから何を考えるのか」ということを強調していくことが多くなります。問題に取り組む際の「考え方」を学ぶことが数学の勉強になっていくのです。

数学は「積み重ねの学問」ですから、これまでに学んださまざまな考え方を複合させて取り組まなければ解けない問題も扱うことがあります。したがって、中学までとは違い、2～3分もあれば解けるという問題はどんどん少なくなります。1問にかかる時間は長くなりますが、授業で学んだ考え方がどのように利用できるかを考えながら、じっくりと取り組んでください。この姿勢を養うことが、高校での数学の学習目標です。

そして、これまでどおり「考えることの楽しさ」を存分に味わいましょう。これが、数学を学習する上での一番の目標です。

2. 学習の進め方

〈理解する、覚える、応用力を養う〉

数学の学習には、特別な方法はありません。高校生になったみなさんには、自分にとって最も効果の上がる学習方法を、試行錯誤しながら確立してほしいと思います。ただし、数学の学習には順序があります。次の3点を意識して学習を進めてください。

①理解すること

数学の授業では、見たことも聞いたこともないような話をいきなり始めることはありません。今までに学習した事柄を取り掛かりにして、新しい方法や考え方を学んでいきます。つまり、飛びぬけた発想力がなくても、ごく普通の連想力や予想力があれば高校数学は十分に理解できるのです。今までに学習した内容が自分なりに整理されてさえいれば、新しい事柄は自然と頭の中に入ってくることでしょう。

新しい事柄を理解する方法としては、予習の段階で分からないことを調べておくという方法もありますが、最も大切なのは、すでに終わった授業で、理解できないままの項目を残さないことです。とにかく授業中に理解してしまうこと、もし残ったら必ず何らかの方法で解決することです。数学では1回“わかんない病”にかかるとそれが雪だるま式に大きくなり、治すのは容易ではありません。

②覚えること

物を作り出すには、それに必要な材料と道具をそろえること、道具の使い方を知っていることが必要です。数学の問題を解く場合には、定理や公式は道具といったところでしょう。つまり、数学の問題が解けるようになるためには、道具（定理や公式）が頭に入っていること、道具（定理や公式）の使い方を知っていることが必要です。これなしには、余程の天才を除いては、手も足も出ません。まずは道具そのものと、道具の使い方を覚えてください。

その方法としては、問題演習のとき、自分で解いてくることです。自らの手で解かずに、授業中に先生の解説を聞いてなんとなく分かった気になっていても、ほとんど頭の中には残りません。そのような問題はあとで取り組んでみると、意外と解けないものです。まずは自分でまごつきながらも解いてみることで、それが道具の使い方を覚えるのもっとも有効な手段ですし、よく理解することにもつながります。また、この覚える作業のときには、基本問題にたくさん取り組むことが有効です。基本問題が解けない場合には、解答をすぐに見てしまってもかまいません。解答を見ることで道具の使い方を確認し、そして、その問題をもう一度解いてみるか、類題を解いてみることで身につけるのです。道具の使い方を覚えるには、いい見本を真似るのが一番の早道です。

③応用力を養うこと

基本事項を理解し覚えた後、もう一つ要求されることは、応用力があるかどうか、言い換えると問題を解決するのに有効な道具を見つけ出せるかどうか、ということです。

応用力を養うには、問題にあたって、たとえ解けなくても、解答をすぐ見ずにじっくりと問題と向き合うことです。授業で学んだ「考え方」をどのように適用するの

か、いろいろと試行錯誤することが応用力の養成につながります。慣れてくればその問題が何を要求しているのかが分かり、自ずと解法も見えてくるものです。

上に挙げた、「理解すること」「覚えること」「応用力を養うこと」、この3つのことを意識して数学の学習に取り組んで下さい。「解けたー…」という喜びと安堵感をより多く体験できることを期待します。

3. 学習計画 (1)

教科	数 学	科 目	数学 I	週あたりの授業時数	3 時間	担当
使用教材	数学 II (数研出版) 4 S T E P 数学 II + B (数研出版)					

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月	【指数関数と対数関数】 1. 指数の拡張 2. 指数関数 3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数 【第 1 回定期考査】	指数を有理数まで拡張し、その意味を知り計算できるようにする 指数関数の性質やグラフを学び、変化の様子を理解する 対数の意味を知り、その性質を理解し計算できるようにする 対数関数の性質やグラフを学び、変化の様子を理解する 常用対数の使い方を学び、利用できるようにする
5 月		
6 月		
7 月		
1 学期 予定時数 _____		
	【三角関数】 1. 一般角と弧度法 2. 三角関数 3. 三角関数の性質 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数の応用 【第 2 回定期考査】	一般角と弧度法の考え方を理解し、利用できるようにする 一般角の三角関数や相互関係を理解し、利用できるようにする 三角関数の性質を理解し、利用できるようにする 三角関数のグラフを学び、その変化の様子を知る 三角方程式、三角不等式、三角関数を含む関数の最大最小などの問題を解けるようにする

<p>2学期 9月</p> <p>6. 加法定理</p> <p>7. 加法定理の応用</p> <p>10月</p> <p>8. 三角関数の合成</p> <p style="text-align: center;">【第3回定期考査】</p>		<p>三角関数の加法定理を学び、利用できるようにする</p> <p>三角関数の加法定理を利用して、三角方程式、三角不等式などの問題を解けるようにする</p> <p>三角関数の合成の方法を学び、合成できるようにする</p>
<p>11月</p> <p>【微分法】</p> <p>1. 微分係数</p> <p>2. 導関数</p> <p>3. 接線</p> <p>12月</p> <p>4. 関数の値の変化</p> <p>5. 最大値・最小値</p> <p>2学期 予定時数 _____</p> <p style="text-align: center;">【第4回定期考査】</p>		<p>極限の考え方と微分係数の意味を知り、微分係数を求められるようにする</p> <p>導関数の意味を知り、導関数が求められるようにする</p> <p>関数のグラフの接線の方程式が求められるようにする</p> <p>導関数を利用して、関数の値の変化の様子を調べられるようにする</p> <p>導関数を利用して、関数の最大値・最小値が求められるようにする</p>
<p>3学期 1月</p> <p>6. 関数のグラフと方程式・不等式</p> <p>【積分法】</p> <p>1. 不定積分</p> <p>2月</p> <p>2. 定積分</p> <p>3月</p> <p>3. 面積</p> <p>3学期 予定時数 _____</p> <p style="text-align: center;">【第5回定期考査】</p>		<p>方程式・不等式を関数のグラフを利用して解けるようにする</p> <p>積分法の意味を理解し、計算できるようにする</p> <p>定積分の意味を理解し、計算できるようにする</p> <p>関数のグラフで囲まれた部分の面積が求められるようにする</p>

3. 学習計画 (2)

教科	数 学	科 目	数学 A	週あたりの授業時数	3 時間	担当
使用教材	数学 B (数研出版) 4 S T E P 数学 II + B (数研出版)					

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月	【平面上のベクトル】 1. 平面上のベクトル 2. ベクトルの演算	ベクトルの意味とその性質を理解する ベクトルの演算の方法を学び、計算できるようにする
5 月	3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 【第 1 回定期考査】	ベクトルの成分について、その意味と利用の仕方を学ぶ ベクトルの内積について、その意味と利用の仕方を学ぶ
6 月	【ベクトルと平面図形】 1. 位置ベクトル	位置ベクトルの意味を学び、内分点や外分点などの位置ベクトルを求められるようにする
7 月	2. ベクトルと図形 3. ベクトル方程式 【第 2 回定期考査】	図形の性質を、ベクトルを用いて表せるようにする 図形のベクトル方程式を学び、利用できるようにする
1 学期 予定時数 _____		

<p>2学期 9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p> <p>2学期 予定時数 _____</p>	<p>【数列】</p> <p>1. 数列</p> <p>2. 等差数列とその和</p> <p>3. 等比数列とその和</p> <p>4. 種々の数列</p> <p style="text-align: center;">【第3回定期考査】</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>5. 漸化式と数列</p> <p>6. 数学的帰納法</p> <p>【ベクトルと空間図形】</p> <p>1. 空間の座標</p> <p>2. 空間のベクトル</p> <p>3. ベクトルの成分</p> <p>4. ベクトルの内積</p> <p style="text-align: center;">【第4回定期考査】</p>	<p>数列の意味を知り、様々な数列の特徴をつかめるようにする</p> <p>等差数列の一般項やその和を求められるようにする</p> <p>等比数列の一般項やその和を求められるようにする</p> <p>様々な数列の特徴をつかみ、その数列の一般項や和を求められるようにする</p> <p>漸化式の意味を理解し、様々な漸化式で定められる数列の一般項を求められるようにする</p> <p>数学的帰納法での証明の仕組みを理解し、数学的帰納法を用いて命題を証明できるようにする</p> <p>空間座標について理解する</p> <p>空間ベクトルの意味とその性質を理解する</p> <p>空間ベクトルの成分について、その意味と利用の仕方を学ぶ</p> <p>空間ベクトルの内積について、その意味と利用の仕方を学ぶ</p>
<p>3学期 1月</p> <p>2月</p> <p>3月</p> <p>3学期 予定時数 _____</p>	<p>5. 位置ベクトル</p> <p>6. ベクトルと図形</p> <p>7. 座標空間における図形</p> <p style="text-align: center;">【第5回定期考査】</p>	<p>空間ベクトルの位置ベクトルの意味を学び、求められるようにする</p> <p>空間図形の性質を、ベクトルを用いて表せるようにする</p> <p>座標空間における図形の方程式を求められるようにする</p>

理 科

Syllabus

年間学習計画



国 語

地理歴史

公 民

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

美 術

家 庭

情 報

1. 学習の目標

理科では、私たちの身の回りの自然の物事・現象がどのようなになっているのか、どのような法則に基づいているのかについて理解することが目標です。自然現象についての理解を深めるためには、まず身の回りの自然の物事・現象に興味を持ち、意欲的にそれらに接する必要があります。そのため、教科書に書いてあることをただ読んだり覚えたりするだけではなく、実験や観察などの「実体験」を大切にしましょう。目的意識を持ち、実験や観察を通して、身の回りの自然現象を実証的にかつ論理的に考える力を養い、また客観性のある、科学的な分析をする力も養います。そのための前提として、観察・実験の基本操作と習得はもちろんのこと、それらの過程や結果のまとめ方、結論の導き方や表現の方法も学習します。さらに、基本的な概念や原理・法則の理解、基本的な知識の定着も図ります。

2. 学習の進め方

身近な物質や現象に興味を持って授業に参加してください。興味を持つことで「何故だろう」、「どうしてなんだろう」というような疑問を持ちながら授業を受けることができ、基本的な考え方や知識を理解し身につけることができます。また、黒板に書かれない説明なども大切なことはノートに書き取りましょう。

<高1>

〔化学基礎〕

「化学基礎」では中3の理科1分野から引き続き、「物質の構成」、「物質と化学結合」、「物質の変化」について学習します。これらの単元は、化学を学ぶ上で最も重要と言える基礎の部分です。物質を構成する原子、分子などのごく小さな粒子について理解を深めることで、様々な化学変化の基本的な原理、法則を理解することにつながります。また、これまで以上に思考力や計算力を要する内容を扱うことになるので、積極的に授業に参加し、問題演習を通して自発的に学習する姿勢を大切にしてください。実験の内容は中学の頃と比べてより高度になってきます。実験レポートの作成を通して、得られた実験結果を具体的に用いながら、理論的に考察する力を養うことを目標とします。

〔物理基礎〕

問題演習に意欲的に取り組みましょう。「物理基礎」では中3から引き続き「力と運動」と「仕事とエネルギー」、「熱」、「波動」、「音波」について学習します。また、物理では計算力が必要となり、演習を多く行います。中学以上に計算力が要求されますから、演習ノートを作成し、定着を図りましょう。自分の力で分かるまで考えていくという能動的な姿勢を持つことが必要です。

次に実験・実習に積極的に取り組みましょう。実験を通して原理や法則を発見し、理解を深めましょう。実験の目的を理解して実験を行い、結果からの考察を大切にしてください。

〔生物基礎〕

中学3年で学習を始めた「生物基礎」の後半部分を学習します。「生物の体内環境の維持」の分野では、私たちの体のつくりとはたらき及び体内環境を維持するシステムについて学習します。「生物の多様性と生態系」の分野では、さまざまな地球環境とそこに生活する生物との関係を扱います。いずれの分野も、私たち自身のことや身近な事柄を中心に学習するので、日頃から生命現象や地球環境に興味を持ち、授業にのぞむことが必要です。

学習方法としては、まず第一に授業を大切にすることです。一つひとつの現象も、ただ言葉を表面的に覚えるだけでなく、その内容を十分理解することが必要です。また、日常の授業の復習も大切ですから、授業があった日にノートを見直しなが教科書を読むなど小さな積み重ねを大事にしましょう。体のしくみ一つをとってみても、いろいろな事柄が複雑にからみあってきますので総合的に理解しましょう。理科では当然のことながら、実験には積極的に取り組みましょう。レポートを自分なりに工夫して書くことは大きな力となります。さらに、授業内容に関連する本や雑誌なども自主的に読んでみましょう。

3. 学習計画 (1)

教科	理科	科目	化学基礎	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材	『化学基礎』実教出版 『標準セミナー化学基礎』第一学習社 『高1化学基礎 独自作成テキスト』					

時期	単元	単元の内容
1学期 4月 5月 6月 7月	物質の構成 ・原子の構造 物質と化学結合 ・化学結合 【第1回定期考査】 物質の変化 ・物質と化学反応式 【第2回定期考査】	中3次に扱った「物質の構成」を復習しながら、より発展的な内容を学習する。 ・イオンの生成とエネルギー ・身のまわりの物質と化学結合 [実験] 拡散と温度、分子量の関係 物質量を導入し、化学変化の量的関係について理解を深める。 ・原子の相対質量と原子量、分子量、式量 ・物質量とアボガドロ定数、質量、体積の関係 ・化学変化の量的関係 ・基本法則に関連した化学史 ・化学変化の量的関係 (応用) ・溶液の濃度 [実験] 物質量の考え方
2学期 9月 10月 11月 12月 2学期 予定時数 _____	物質と化学結合 ・金属と金属結合 【第3回定期考査】 物質の変化 ・酸と塩基 【第4回定期考査】	これまでに学習したさまざまな結晶の結晶格子について理解を深める。 ・さまざまな結晶の性質、結晶格子 [実験] 化学変化の量的関係 [実験] 金属結晶の単位格子模型 酸・塩基の定義を導入し、pHや中和反応の量的関係について理解を深める。 ・酸性、塩基性、酸と塩基の定義 ・酸と塩基の分類 ・水素イオン濃度とpH
3学期 1月 2月 3月 3学期 予定時数 _____	・中和反応と塩の生成 ・中和滴定 ・酸化還元反応 【第5回定期考査】	・中和反応と塩、中和反応と量的関係 ・中和滴定と滴定曲線 ・塩の性質と種類 [実験] 中和滴定 酸化還元反応の定義を導入し、また酸化数について理解を深める。 ・酸化と還元 ・酸化数 ・酸化剤と還元剤

3. 学習計画（2）

教科	理科	科目	物理基礎	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材	『物理基礎』数研出版 『高1物理基礎 独自作成テキスト』					

時期	単元	単元の内容
1学期 4・5月	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の法則 ・水圧と浮力 <p>【第1回定期考査】</p>	<p>運動の法則，運動方程式を導入し、運用できるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・束縛条件を考慮する運動 <p>力と圧力の違いを理解し、身近な現象を理解できるようにする。</p> <p>エネルギーと仕事の概念を理解し「運動エネルギーと仕事」の関係を運用できるようにする。</p>
6・7月 1学期 予定時数 _____	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事とエネルギー <p>【第2回定期考査】</p>	
2学期 9月	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事とエネルギー ・力学的エネルギー保存則 <p>【第3回定期考査】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動エネルギーと仕事 ・保存力と非保存力 ・力学的エネルギー保存則 <p>[実験] 力学的エネルギーの保存</p> <p>波の概念を理解し波の諸物理量を読みとれるようにする、又、$y-x$グラフと$y-t$グラフの関係の理解を深める。</p> <p>重ねあわせや反射などの現象も学習する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波の性質 ・重ねあわせの原理と定常波 ・1次元波動の反射
10月		
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・波動 <p>【第4回定期考査】</p>	
12月 2学期 予定時数 _____		
3学期 1月 2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・縦波の性質 ・音の諸性質 ・固有振動 	<p>縦波と横波の違いを理解し、縦波である音波の性質についての理解を深める</p> <p>[実験] 気柱の共鳴</p>
3学期 予定時数 _____	<ul style="list-style-type: none"> ・熱とエネルギー <p>【第5回定期考査】</p>	

3. 学習計画 (3)

教 科	理 科	科 目	生物基礎	週あたりの授業時数	2 時間	担当
使用教材	『生物基礎』東京書籍 『ニューステージ新生物図表』浜島書店 『リード Light 生物基礎』数研出版					

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月 5 月 6 月 7 月 1 学期 予定時数 _____	第3編 生物の体内環境の維持 1章 体内環境 ・心臓と血液循環 ・肝臓 ・腎臓 【第1回定期考査】 2章 体内環境の調節 ・自律神経 ・内分泌系 【第2回定期考査】	生物の体内環境の維持について、観察などを通して探求するとともに、そのしくみについて理解する。 ・体内環境とその調節 [実験] 血液の観察 ・体液の成分とその濃度調節における腎臓の関わり [実験] 腎臓の観察 ・体内環境の維持における自律神経とホルモンの関わり
2 学期 9 月 10 月 11 月 12 月 2 学期 予定時数 _____	3章 免疫 ・自然免疫と適応免疫 【第3回定期考査】 第4編 生物の多様性と生態系 1章 植生の多様性と分布 【第4回定期考査】	・免疫に関わる細胞のはたらき [実験] カエルの解剖 生物の多様性と生態系の成り立ちを理解するとともに、その保全の重要性について認識する。 ・陸上の多様な植生と長期的な移り変わり
3 学期 1 月 2 月 3 月 3 学期 予定時数 _____	2章 気候とバイオーム 3章 生態系とその保全 【第5回定期考査】	・気候と降水量の違いによる様々なバイオームの成立 ・生態系における物質の循環とエネルギーの流れ ・生態系のバランスの理解とその保全の重要性

国 語

地理歴史

公 民

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

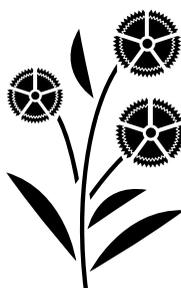
美 術

家 庭

情 報

英 語

Syllabus 年間学習計画



1. 学習の目標

- ①英語の4技能「読む・書く・聴く・話す」を総合的に身につける。
- ②国際語としての英語を通じて、コミュニケーション能力を身につける。
- ③難関大学の入試に十分対応できる英語力を身につける。
- ④時事問題・国際問題・その他のやや専門的な話題についても、4技能を駆使して、国際社会で英語を使って情報収集や意思伝達ができる高度な英語力を身につける。
- ⑤各学年の具体的な目標

<高1>

「コミュニケーション英語Ⅰ」

- ・500～1000語程度の論説文やエッセイ、物語などを要点をとらえながら、概要を理解し、英語でまとめることができる
- ・本文のテーマに関連したトピックについて調べ、その内容を発表したり、それについて自分の意見を述べたりすることができる

「英語表現Ⅰ」

- ・教科書で学ぶ表現や文法を適切に使って、英語の文を書くことができる
- ・自分の経験や出来事の描写についてある程度まとまった文章を書くことができる(70語程度)

<高2> 高1での学習を土台に、入試問題に必要な長文読解力、リスニング力、表現力の基礎を完成させる

<高3> 様々なテーマの英文の読解やリスニング、発展的な英作文・スピーキングなどに取り組み、難関大学入試に対応できる英語力を身につける

2. 学習の進め方

① 授業

中学で身につけた基礎力をもとに、さらに4技能をバランス良く向上させるための授業を展開します。

全員を対象とした必修授業として、3学年とも「コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ」と「英語表現Ⅰ、Ⅱ」があります。この他に高3では、私文系に「私文総合英語」や全ての系を対象とした「読解記述演習」という自由選択科目を設置しています(自由選択科目は年度により変更される場合があります)。

「コミュニケーション英語」では、中学3年間を通じて多くの教科での学習を通じて得た人文科学、社会科学、自然科学などの幅広い知識や興味を生かし、専門的な文章を読み、意見を記し、発表し合っていくことを目標に学習します。「英語表現」では、高校英語における文法の基礎を固め、高1では学んだ文法項目を生かした英作文

成、高2・高3では、ネイティブ・スピーカーの先生の指導のもと、パラグラフ・ライティングを行い、将来英語で自分の意見を書くことや話すことで発信・意見交換ができるような力を養います。

高3では進路の達成のため、英語外部試験や共通テストに向けた対策と並行して、私立難関大学や国公立大学への入試対策を具体的に行っていきます。

② 講習

高校では中学のような指名制の補習はありません。単位取得のためには各自の努力が重要です。実力アップを目指す人やハイレベルで発展的な学習を進めたい人のために、夏休みには希望者対象に有料の校内夏期講習と勉強宿舎（祥友ゼミナール、高1・高2対象、富士吉田キャンパス）があります。学期中に発展的な講習を行う場合もあります。

③ 家庭学習

予習・復習を重視しています。予習を前提として授業は進められ、学力の定着に復習は不可欠となります。学習内容がより難しく、より深くなりますので、中学よりいっそう自主的かつ継続的な予習・復習が重要となります。

④ 英検および英語外部試験受験の推奨

授業を通じて伸ばした英語力を外部の試験により証明することはとても大切です。吉祥では、全員が高校3年生に進級する前までに英検2級、あるいはそれ以上の級を取得することを目標にしています。各学年での目標は以下の通りです。

- ・ 準2級（高校2年程度）： 高1の3学期までに
- ・ 2級（高校卒業程度）： 高2の3学期までに
- ・ 準1級（大学程度）： 高3の2学期までに

英検やGTEC、TOEICなどの試験結果は大学試験の際にも自らの英語力の証明として今後益々重要になります。自分の目標とする大学でのこれらの証明の扱いについて調べておくことを勧めます。校内では9月に高1全員を対象としたGTEC（スピーキングを含む4技能）を、1月に希望者を対象とした英検2級一次試験を実施します。

3. 学習計画（1）

教科	英語	科目	コミュニケーション英語Ⅰ	週あたりの授業時数	4時間	担当
使用教材	『Revised Landmark コミュニケーション英語Ⅰ』 テキスト・CD・予習ノート 『Revised Landmark コミュニケーション英語Ⅱ』 テキスト・CD・予習ノート（以上 啓林館） 『データベース 4500』（桐原書店）					

* 『データベース』は主として家庭学習用。確認テストや定期考査の範囲に含む。

* 『Landmark』のなかのReadingは、速読演習や長期休暇中の課題として扱う。

※単元R（JT担当）：読解活動を中心とする学習

単元S・W（NTとJT担当のTT）：話したり書いたりする活動を中心とする、2分割授業での学習

時期	単元(R)		単元(S・W)	単元の内容
1学期 4月	LMI L7	Eco-tour on Yakushima	Essay writing	(R) エコツアーの意義と屋久島の 自然や見どころ (S・W) 文化・スポーツ、社会問題、 環境問題をトピックとして エッセイを作成する。
5月	L8	Mariko Nagai, Super Interpreter	L8 Communication	日本を代表する通訳者、長井 鞠子の活躍と信条
【第1回定期考査】				
6月	L9	Space Elevator	L9 Communication	宇宙エレベーターの可能性と 仕組み
			Speech draft	スピーチ原稿を作成する。
7月	L10	Friendship over Time	L10 Communication	トルコと日本の両国の友情
1学期 予定時数			Speech	クラス内でスピーチを発表す る。
【第2回定期考査】				
夏課題	LMII L1	I'm the Strongest		障害者スポーツ界のトップア スリート国枝慎吾の活躍

2学期 9月	LMII L2	Tokyo's Seven-minute Miracle	L2 Communication	世界を驚かせた新幹線清掃 チーム
10月	L3	Saint Bernard Dogs	L3 Communication	スイスの国犬、セントバー ナードの歴史
【第3回定期考査】				
11月	L4	Chanel's Style	L4 Communication	ファッション界のカリスマ、 シャネルの生き方
12月 2学期 予定時数 _____	L5	Science of Love	L5 Communication	科学で解明する恋に落ちる原 因
【第4回定期考査】				
3学期 1月	L6	Gaudi and His Messenger	L6 Communication	建築家ガウディとその遺志を つぐ日本人彫刻家
2月 3月 3学期 予定時数 _____	L7	Letters from a Battlefield	L7 Communication	硫黄島の戦いと兵士からの手 紙
【第5回定期考査】				

3. 学習計画 (2)

教科	英語	科目	英語表現 I	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材	『総合英語 be (3rd Edition)』 参考書・テキスト・ワークブック (以上 いいずな書店) 『NextStage 英文法・語法問題』※ (桐原書店)					

※主として家庭学習用です。確認テストや定期考査の範囲に含みます。

時期	単元		単元の内容
1 学期 4 月	L 2	英語の語順 (2)	<ul style="list-style-type: none"> There + be動詞 + 名詞、接続詞、群動詞などを用いて英文を書くことができる。 (例: 教室にいる人、ある物)
	L 3	文の種類	<ul style="list-style-type: none"> 否定文、疑問文、命令文、感嘆文を書くことができる。 (例: 禁止事項) (例: 「なんて～でしょう」と強い感情を表現する)
5 月	L 8	助動詞 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞を用いて英文を書くことができる。 (例: 学校生活で守らなければならないこと) (例: 「～すべきだった」と後悔すること) (例: 「以前は～よくしたものだだった」過去の習慣)
	L 9	助動詞 (2)	
	L 10	助動詞 (3)	
	L 11	受動態 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 態を用いて英文を書くことができる。 (例: 歴史的建造物) (例: 吉祥生は～とされている)
L 12	受動態 (2)		
【第 1 回定期考査】			
6 月	L 16	不定詞 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞を用いて英文を書くことができる。 (例: ～すぎてできない事・物) (例: ある物・事にかかる時間・費用) 独立不定詞を用いて英文を書くことができる。 (例: 自分の本心)
	L 17	動名詞 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 動名詞を用いて英文を書くことができる。 (例: 楽しみにしていること) (例: 今の気分)
	L 18	動名詞 (2)	
7 月	L 20	分詞 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 分詞構文を用いて英文を書くことができる。 (例: ～しながら同時にやること) (例: 一般的に言えばよくあること)
	L 24	関係詞 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 複合関係詞を用いて英文を書くことができる。 (例: ～する人なら誰でもすること) (例: どんなに～でも必ずすること)
1 学期 予定時数			【第 2 回定期考査】

2学期 9月	L25	比較（1）	・比較級を用いた英文を書くことができる。 （例：吉祥に関するT/Fクイズ）
	L26	比較（2）	・最上級を用いて英文を書くことができる。 （例：一番～なもの）
	L27	比較（3）	・比較級を用いて英文を書くことができる。 （例：英語を勉強すればするほど…）
	L41	形容詞・副詞（1）	形容詞・副詞を用いて英文を書くことができる。 （例：嬉しいこと）
	L42	形容詞・副詞（2）	
10月	L34	語法	・直接語法と関係語法を用いて英文を書くことができる。 （例：友だちや先生が言ったこと）
【第3回定期考査】			
11月	L28	仮定法（1）	・仮定法を用いて英文を書くことができる。 （例：今日が日曜日なら…） （例：もしもあの時～がなかったら…） （例：まるで～であるかのようにすること）
	L29	仮定法（2）	
	L30	仮定法（3）	
	L43	前置詞（1）	・様々な前置詞を使い分け、英文を書くことができる。
	L44	前置詞（2）	
12月	L45	接続詞（1）	・接続詞を用いて英文を書くことができる。 （例：～できるように頑張っていること）
2学期 予定時数	L46	接続詞（2）	
【第4回定期考査】			
3学期 1月	L32	否定（1）	・様々な否定の表現を用いて英文を書くことができる。 （例：自分がめったにしないこと） （例：知人がしてばかりいること）
	L33	否定（2）	
	L35	強調・倒置・挿入・省略	・特殊な文の形を用いて、意味を強める英文や、情報を付け加える英文を書くことができる。
2月	L36	さまざまな表現	・名詞構文、無生物主語、that節を使う表現を用いて英文を書くことができる。
3月	L37	名詞・冠詞（1）	・様々な名詞を使い分け、英文を書くことができる。
	L38	名詞・冠詞（2）	
3学期 予定時数	L40	代名詞（2）	・様々な代名詞を使い分け、英文を書くことができる。
【第5回定期考査】			

国 語

地理歴史

公 民

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

美 術

家 庭

情 報

保健体育

Syllabus

年間学習計画



1. 学習の目標

〈保健〉

高1の保健は性教育を行います。授業では一斉授業形式による知識偏重に陥らないよう、様々なアクティビティー（生徒同士の活動）を通じて自ら考え、他者と関わる姿勢を大切にしています。私たち吉祥では「性は生なり」の理念のもと、半世紀以上にわたり性教育を探求してきました。高1保健での様々なアクティビティー、プレゼンテーション、ディベートなどを通して「性」の知識を深めるとともに、自らの「生」を選択しクオリティオブライフを高めていくことを目指します。

〈体育〉

社会に貢献するためには積極性と協調性が必要です。また良好なライフワークバランスが求められる現代、余暇を充実させるためにスポーツの役割はこれまで以上に大切になってきています。体育ではスポーツに自ら積極的に取り組むことにより、楽しみながら基礎体力を養い、他者と協力しながらスポーツをマネジメントしていく力を養います。このため各種目は生涯スポーツを見据えたものになっています。

2. 学習の内容

〈保健〉

性教育の先進国であるオーストラリアやカナダのテキストを参考に、オリジナルのテキストを使用して授業を進めています。2学期後半からは生徒一人ひとりが、自分で性に関するテーマを決めて、クラスでプレゼンテーションを行う「個人発表」が始まります。3学期まで続く「個人発表」を通して、生徒たちは授業では扱えなかったテーマについても深めることができ、さらにプレゼンテーション能力も身につきます。3学期中盤以降は性をテーマとした「ディベート」を行います。生徒たちは自分の価値観と異なる主張にも向き合わなければならない、これにより一方的な性のとらえ方だけでなく、他者の価値観を認めた上で対話する力をつけていきます。

〈体育〉

学年 \ 学期	1 学期	2 学期	3 学期
1 年次	バレーボール・水泳	卓球・水泳	バスケットボール
2 年次	フットサル	バレーボール	バドミントン
3 年次	テニス・ダンス	テニス・ダンス	

※高1は6月上旬から9月中旬まで水泳授業を行います。

※全学年1学期末は球技大会の練習、2学期始めは運動会の練習を行います。

3. 学習の進め方

〈保健〉

- ・各分野とも本校独自のテキストによる学習が中心。
- ・実習やアクティビティーを多数導入。
- ・個人発表、ディベートなど。

〈体育〉

- ・体育の時間は高1、2で週2時間。高3で週3時間ある。
- ・基本的に学期ごとに1つの種目を行う。ただし高3のみ1、2学期を通してテニス（2単位）とダンス（1単位）を行う。
- ・高3のダンスは運動会発表の練習が中心。
- ・それ以外の各球技は基礎技術習得後、リーグ形式でゲームを行う。
- ・水泳授業は高1のみ実施。基礎的泳法を練習し、個人の泳力に合わせて検定を行う。

4. 学習計画（1）

教 科	保健体育	科 目	保 健	週あたりの授業時数	2 時間	担当	
使用教材	『最新保健体育』大修館書店 本校オリジナルテキスト						

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月 5 月 6 月 7 月 1 学期 予定時数 _____	オリエンテーション 「セクシュアリティ」とは 「多様な性」 「ヒューマンボディー」	<ul style="list-style-type: none"> * 保健授業の進め方説明 * 性に対する考え方を見つめる * メディアリテラシー * 職業と性別 * ジェンダーとセックス * 性的マイノリティー * からだの各器官の発育・発達 * 思春期と性機能 * 内性器、外性器の性分化 * 女性のからだ * 女性の性機能のしくみ * 女性特有の病気 * 男性のからだ * 男性の性機能のしくみ * 「個人発表」説明
2 学期 9 月 10 月 11・12 月 2 学期 予定時数 _____	「リプロダクティブ・ヘルス・ライツ」 「個人発表」	<ul style="list-style-type: none"> * 性交 * 避妊 * 妊娠 * 出産 * 不妊症 * 調べ学習 (レジュメ・パワーポイント作成) * 各自が決めたテーマに沿って発表 (質疑・応答含め 15 分)
3 学期 1 月 2 月 3 月 3 学期 予定時数 _____	「個人発表」 「STI」 「性暴力」 「ディベート」	<ul style="list-style-type: none"> * 「個人発表」続き * HIV・その他 * クラミジア感染症シュミレーション * デート DV * テーマについて調べ、作戦を立てる * ディベートの実践

4. 学習計画（2）

教科	保健体育	科目	体育	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材						

時期	単元	単元の内容
1学期 4月 5月 6・7月 1学期 予定時数 _____	オリエンテーション バレーボール 球技大会練習 水泳	*授業内容の説明 *各種パス *サーブ *サーブとレシーブ *トスとアタック *リーグ戦 *バレーボール・バスケ・卓球 *各種泳法の練習
2学期 9月 10月 11月 12月 2学期 予定時数 _____	水泳 運動会練習 卓球	*各種泳法の練習・検定 *各種目練習 *フォアハンドロング *サーブ *スマッシュ *ゲーム
3学期 1月 2月 3月 3学期 予定時数 _____	バスケットボール	*ドリブル *各種パス *各種シュート *チーム練習 *リーグ戦

国 語

地理歴史

公 民

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

美 術

家 庭

情 報

音 楽

Syllabus

年間学習計画



1. 学習の目標

- ①音楽活動に、自らの心を開いて主体的に取り組むことによって、豊かな情操を養う。
- ②音楽に対する愛好心や、素晴らしいものに触れたとき、素直に感動できる豊かな感性を身につける。
- ③合唱および合奏など、集団で音楽を作り上げていく体験を通して、一個人としての自分、また集団の中における自分の役割を自覚し、より豊かなハーモニーづくりに貢献する姿勢を学び社会性を身につける。

2. 学習の内容

高等学校は、学校で音楽を学ぶ最後の機会であるので、生涯音楽を楽しめる基礎を作ります。

表現領域の中から、主に歌唱技術を高めていきます。

鑑賞活動では、声や楽器の種類や音色の特性と、それらが楽曲表現にもたらす効果を聴き取る能力を伸ばします。

高1が選択する音楽1は、表現と鑑賞を関連させて自身の演奏へ取り入れます。

3. 学習の進め方

[歌唱]

中3から学んでいるイタリア歌曲のレパートリーを増やししながら、腹式呼吸や声楽の専門的な発声法を学び、歌詞の内容や曲調に応じた表現を意識して、ドイツ歌曲や日本歌曲、オペラアリアに取り組んでいきます。

ミュージカル曲の中から重唱曲や合唱曲を取り出し、ハーモニーを感じて歌います。また、中学校で取り組んだヴァイオリンでアンサンブルに取り組みます。

[鑑賞]

歌唱で扱っている曲のイメージや表現の手掛かりとなる作品を鑑賞します。作曲者や楽曲の背景を知り、作品理解を深めるとともに、実際に演奏表現に活かしていきます。演奏家を招き、息遣いの感じられる距離で生の演奏を聴き、音楽をより身近に体感します。

◆ 進路にむけて ◆

音楽大学などを志望する生徒は、高校2年から音楽に比重を置いた科目選択ができ、各実技分野の専門家から直接指導を受け、専門性を高めて行くことができます。

4. 学習計画（1）

教 科	音 楽	科 目	歌唱・鑑賞	週あたりの授業時数	2 時間	担当
使用教材	『イタリア古典声楽曲集』教育芸術社 『高校生の音楽1』教育芸術社					

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期	言語の特性と歌唱表現	<ul style="list-style-type: none"> 日本語、英語、イタリア語、ドイツ語、フランス語を取り上げ、それぞれの言語の特性にふさわしい歌い方を身につける。
1 学期 予定時数 _____	歌詞と旋律とのかかわり 【実技試験】 独唱での発表	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の語感と旋律とのかかわりを感じ取りながら、イタリア古典歌曲やドイツ歌曲を歌う。 自作の俳句や短歌を歌詞として、日本の音階を用いて旋律を創作する。 課題曲の中から一曲を選び、暗譜歌唱する。
2 学期	総合芸術としての音楽	<ul style="list-style-type: none"> オペラやミュージカル作品の鑑賞と歌唱を通して、その表現効果を味わう。 役柄の感情を感じ取り、その音楽表現と表情や動きとの関連を工夫しながら歌う。
2 学期 予定時数 _____	【実技試験】 独唱もしくは二重奏での発表	<ul style="list-style-type: none"> 課題曲の中から一曲を選び、演技を伴いながら暗譜歌唱する。
3 学期	旋律と旋律の重なり	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の多声合唱とヴァイオリンとのアンサンブルに取り組む。 日本の伝統音楽と西洋音楽それぞれの複旋律の作品を鑑賞する。
3 学期 予定時数 _____	コンサートの企画 【実技試験】 歌唱とヴァイオリンのアンサンブルでの発表	<ul style="list-style-type: none"> 少人数の演奏グループを組み、クラスで協力して授業内コンサートを企画し、実施する。 課題曲の中から一曲を選び、歌唱かヴァイオリン実技のどちらかを選択して演奏する。

4. 学習計画（2）

教科	音楽	科目	器楽	週あたりの授業時数	1時間	担当
使用教材	独自プリント					

時期	単元	単元の内容
1学期 4月	オリエンテーション（クラス全員） ヴァイオリンの復習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の説明 ・基本事項の確認
5月	弦楽合奏のパート分け	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴィオラとチェロの説明 ・各自に適したパートに分ける。
	弦楽合奏の基本練習 ニ長調の音階 2オクターブ	<ul style="list-style-type: none"> ・ポジション移動の練習
	パッヘルベル「カノン」	<ul style="list-style-type: none"> ・各パートごとに練習 ・丁寧なボーイングを心がける。
6・7月 1学期 予定時数 _____	【実技試験】	<ul style="list-style-type: none"> ・パート練習と合奏（ゆっくり練習） ・ボーイングの工夫 ・セクションごとの練習とまとめ ・授業内容の実技試験
2学期 9月	バッハ「G線上のアリア」	<ul style="list-style-type: none"> ・ト長調の音階 2オクターブ ・歌唱の授業とタイアップ（歌うように弾くことを目標とする。）
10月		<ul style="list-style-type: none"> ・パート練習と合奏（ゆっくり練習） ・ボーイングの工夫 ・セクションごとの練習とまとめ
11・12月 2学期 予定時数 _____	【実技試験】	<ul style="list-style-type: none"> ・アンサンブルの能力の構築 ・授業内容の実技試験

※器楽は2学期まで実施。

美 術

Syllabus

年間学習計画



国 語

地理歴史

公 民

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

美 術

家 庭

情 報

1. 学習の目標

- ①人物や風景などの対象物をよく観察して正確に描く能力や、イメージしたものを平面や立体作品として具現化、完成させる表現能力を培う。
- ②アイデアを膨らませて、ひとつの形へとまとめ完成させる、デザインの能力を培う。
- ③創意と工夫によって日常で使用できる工芸作品を、自らの手で造形する能力を培う。
- ④美術やデザイン作品に興味をもち、それらを尊重し大切にする精神と鑑賞力を養う。

2. 学習の内容

高1では、中学で培ったものを基礎として、生徒達がさらに美術工芸の分野に興味を深め、技術的にも向上できるように、様々な内容の学習を行います。吉祥オリジナルな教材を扱うため、年度により扱う内容に変化があります。従って、このシラバスに取り上げている内容も参考の一例と考えて下さい。

実際の内容は年度最初の授業時に「年間カリキュラム」が配布され、担当教員より詳しい解説があります。この数年間で取り上げた内容を参考に記すと、「メタモルフォーゼによる自画像」「篆刻のデザイン」「パッケージのデザイン」「クロッキーと石膏デッサン」「Tシャツ&バッグのデザイン」「PopUp カード」「スクラッチタイル」などがあります。

3. 学習の進め方

① 授業

授業ごとに、カリキュラムの内容に関わる様々な資料やプリントを配布し、制作の目標を明確にして授業を展開します。また生徒一人一人に細かなアドバイスと実技的指導を行いながら全体的にレベルアップしていきます。

② 補習

欠席などで制作が遅れ気味な生徒への指導は、放課後を利用して積極的に行います。

③ 鑑賞

作品の校内展示を随時行うとともに、画集などを利用して多くの作家作品の紹介、また展覧会や展示会の紹介を通じて、個々にやる気と興味づけをします。

◆ 進路にむけて ◆

美術大学などを志望する生徒は、高校2年から美術に比重を置いた科目選択ができ、各実技分野の専門家から直接指導を受け、専門性を高めていくことができます。

芸術系に進学し社会で活躍している本校卒業生のデザイナーやアーティストの講演会・ワークショップや交流会など、さまざまな進路指導を実施します。

4. 学習計画

教 科	美 術	週あたりの授業時数	2 時間	担当
使用教材	「Art and You 創造の世界へ」 日本文教出版			

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月 5 月 6 月 7 月 1 学期 予定時数 _____	イラストレーションとグラフィックデザイン（プッシュステンドなど） ※年度により内容に変化があります (1) オリエンテーション (2) 制作① (3) 制作② (4) 制作③	・年間カリキュラムの説明 ・概論と技法解説 ・実制作の工程（以下同じ）
2 学期 9 月 10 月 11 月 12 月 2 学期 予定時数 _____	グラフィックデザインの展開（Tシャツプリントとスクラッチタイルなど） ※年度により内容に変化があります (1) オリエンテーション (2) 制作① (3) 制作② (4) 制作③	・概論と技法解説 ・実制作の工程（以下同じ）
3 学期 1 月 2 月 3 学期 予定時数 _____	工芸（スクラッチタイルフレームなど） ※年度により内容に変化があります (1) オリエンテーション (2) 制作	・概論と技法解説 ・実制作の工程（以下同じ）

家 庭

Syllabus

年間学習計画
(高校2年次履修)



国 語

地理歴史

公 民

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

美 術

家 庭

情 報

1. 学習の目標

中学で履修した学習内容を発展させ、さらに深く理解し、生活を主体的に創造する力を養います。また、自己実現をはかる生活をめざすために、自立して生きる、共に生きることについて考えます。

2. 学習の内容

家族・家庭、保育、高齢社会をとおして生活を生涯発達的にとらえることについて学習します。また、食生活について、栄養的な観点からだけでなく、自分たちをとりまく食環境や社会とのかかわりを考え知識を深めます。

3. 学習の進め方

講義や実習などを通じて、知識と技術を身につけます。新聞記事やテレビのニュースなどを必要に応じて取り上げ、身近な問題として学習する機会を設けます。

4. 学習計画

教 科	家庭基礎	週あたりの時間数	2時間	担当
使用教材	家庭基礎 実教出版			

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月 5 月 6 月 7 月 1 学期 予定時数 _____	自分らしい生き方と家族 自立した生き方 共に生きる家族 家族に関する法律 労働と生活時間 子どもとかわる 人の発達と保育 子どもの成長と生活・遊び 【第1回定期考査】 出産と子育てのための社会的支援 子どもの権利と福祉 高齢者とかわる 高齢社会に生きる私たちの暮らし 高齢者を知る 豊かな高齢期を迎えるしくみ 【第2回定期考査】	現在の自分と目の前の家族について目を向けるだけでなく、これから自分がつくる家族についても考える機会にする。また、家庭と社会の関係も学習する。 子どもの成長・発達の特徴を理解し、子どもとのかかわり方を学習する。少子社会において、家庭の中だけの子育てではなく、子育て支援、子どもの人権と福祉などの広がりにおいて考える必要性を学習する。 すべての人が高齢期を迎えるという共通認識のもと、高齢者の心身の変化の特徴、社会参加、健康や介護、生計の維持など生活課題について学習する。
2 学期 9 月 10 月 11 月 12 月 2 学期 予定時数 _____	食生活 私たちの食生活 栄養と食品のかかわり 炭水化物とその食品 調理実習① 脂質・たんぱく質とその食品 【第3回定期考査】 ミネラル・ビタミンとその食品 その他の食品 調理実習② 【第4回定期考査】	世界や日本の食文化を学び、食の発達してきた過程を知ることによって現在の自分の食生活のあり方を考えるきっかけにする。 中学で学習した栄養素のうち、熱量素や微量栄養素とそのはたらきについてさらに詳しく学習し、健康維持に役立てる。 調理実習をとおして学習した内容の定着をはかる。

<p>3 学期</p> <p>1 月</p> <p>2 月</p> <p>3 月</p> <p>3 学期 予定時数</p> <p>_____</p>	<p>食事摂取基準と食品群別摂取量のめ やす</p> <p>家族の食事計画</p> <p>調理実習③</p> <p>食品の選び方と安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品表示と保存 ・食品の衛生と安全 <p>調理実習④</p> <p>これからの食生活を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の食料はどこから ・食の安全と環境への配慮 <p style="text-align: center;">【第 5 回定期考査】</p>	<p>自分や家族に必要な栄養素とエネルギー量を知ったうえで、食事づくりができるようにする。</p> <p>食の安全性について、食品表示、食中毒、食品添加物、遺伝子組み換え食品、輸入食品を取り上げて学習する。食料自給率やフードマイレージ、食品ロスなど自分たちを取り巻く食の現状、問題点を理解し、どのような食生活を営むかを考え、実習をとおして実践できる力を養う。</p>
--	---	---

情 報

Syllabus

年間学習計画
(高校2年次履修)



国 語

地理歴史

公 民

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

美 術

家 庭

情 報

1. 学習の目標

「情報」は、単にコンピュータの操作方法や技術を習得するだけの教科ではありません。大学進学後の学びや社会での活躍のためにも、次のような目標を定めています。

- (1) 情報の表現やコミュニケーションにおいてコンピュータなどを効果的に活用する能力を身につける。
- (2) 自ら課題を見つけ、解決していく能力を身につける。
- (3) 情報のデジタル化や情報通信ネットワークの仕組みなどの基礎知識を理解する。
- (4) 情報化の進展が社会に及ぼす影響を理解し、情報を主体的に活用し、情報社会に主体的に参画する態度を身につける。

2. 学習の進め方

理論編では、スライドでの説明に加え、独自のプリント教材や映像資料を用いて最新の情報を盛り込みながら進めていきます。実習編では、日常の学習活動や学校行事等に合わせた課題を設定し、実践力を身につけられるようにしています。グループワークで互いに学び合う場面を多く取り入れて有意義な学びを提供していきます。また、実習課題を自主的に進めたい生徒のために、パソコン室を昼休みと放課後開放し、教員が常駐して対応できるように配慮しています。

3. 学習計画

教 科	情 報	科 目	社会と情報	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材	最新社会と情報 新訂版 (実教出版)					

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月 5 月 6 月 7 月 1 学期 予定時数	情報社会 [実習課題] 表計算ソフトの利用 情報とメディア [実習課題] 情報モラルと社会のルール 【第2回定期考査】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報社会における情報の役割 ・ データの入力、相対参照と絶対参照使い分け ・ データの並べ替え、データの抽出 ・ 関数を利用したデータの統計、条件のある計算 ・ メディアの役割や特性 ・ メディアリテラシーの意味 ・ 個人情報の意味、情報漏えいと防止対策 ・ 産業財産権、著作権の構成と内容 ・ 著作権の侵害事例、著作権法の遵守
2 学期 9 月 10 月 11 月 12 月 2 学期 予定時数	表計算ソフトの利用 [実習課題] 情報機器とデジタル表現 表現と伝達 [実習課題] コミュニケーションとネットワーク 【第4回定期考査】	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラフの作成 ・ 情報機器の種類と特徴 ・ アナログとデジタルの意味 ・ 2進数と情報量 ・ 文字のデジタル表現 ・ 音声の標本化、量子化、符号化 ・ 画像のデジタル化のしくみ、解像度、階調、画質の関係 ・ デジタルでのカラー表現の原理 ・ Web ページによる情報発信 ・ Web ページのしくみ、文字・画像の表示やリンクの設定 ・ ネットワークの特性 ・ インターネットのしくみとサービス

3 学期		
1 月	情報セキュリティ	・ コンピュータウイルスとネットワークのセキュリティ対策
	情報システムと人間 [レポート課題]	・ 社会における情報システム
		・ 人にやさしい情報システム
2 月	データベース入門	・ 情報社会の課題
	プログラミング入門	・ データベースとデータベースマネジメントシステム・リレーショナルデータベース
3 月	情報社会と問題解決 [実習課題]	・ 問題解決の手順と手法
		・ 身近な問題解決
3 学期 予定時数 _____		・ グループプレゼンテーション
	【第 5 回定期考査】	

(参考)

(2020年度入学生高等学校教育課程表)

教科	学年 科目	1年			2年			3年			自由 選択
		共 通	文 系	芸 術 系	理 系	文 系		芸 術 系	理 系		
						国公立	私立				
国 語	国語総合	5									
	現代文B		3	3	2	3	4	3	2	②	
	古典B		3	3	2	3	4	3	2	②	
地 歴	国語演習										
	世界史A	2									
	世界史概説		※②								
	世界史B		③			⑤	⑤			④	
	日本史A		②								
	日本史B		③			⑤	⑤			④	
	地理A		②	2	2					②	
	地理B									④	
公民	世界史B A A史						③				
	日本史B 近世史						③				
数 学	倫理		2	2	2					②	
	政治・経済	2								②	
	数学I	3									
	数学II		3		4						
	数学III								④	②	
	数学A	3									
	数学B		3		2						
	数学II演習					③			④		
共通テスト数学II					③						
数学B演習					③			③			
共通テスト数学B					③						
数学演習								③			
理 科	物理基礎	2									
	物理				③				④		
	化学基礎	2	1								
	化学基礎演習					1					
	化学				4				4		
	生物基礎	2	1								
生物基礎演習					1						
生物				③				④			
保 体	体育	2	2	2	2	3	3	3	3		
	保健	2									
芸 術	音楽I	②									
	美術I	②									
	音楽II			④							
	美術II			④							
	音楽III							④			
	美術III							④			
	音楽専門			⑦				⑦			
	美術専門			⑥				⑥			
美術・デザイン史			①				①				
外 国 語	ソルフェージュ									②	
	美術									④	
	コミュニケーション英語I	4									
	コミュニケーション英語II		4	4	4						
	コミュニケーション英語III					4	4	4	4	②	
英語表現I	2										
英語表現II		2	2	2	3	3	3	3			
私文総合英語演習						3					
家庭	家庭基礎		2	2	2						
情報	社会と情報		2	2	2						
総合的な探究の時間		1	1	1	1	1	1	1	1		
合計		34	34	34	34	30	30	28	30	0~6	
特別活動		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		

※2・3年次文系生徒の地歴選択世界史・日本史・地理のうち2科目履修します。2年次に3単位履修した科目を3年次に国公立文系では5単位、私立文系では8単位(5+3)履修します。2年次に2単位履修したA科目は、必要に応じ、3年次に同一B科目を自由選択科目(4単位)で履修します。

*教育課程表の数字は、各科目の単位数をあらわしています。例えば1年次の国語総合の5は5単位のことで、1週あたり5時間の授業があり、1年間履修して認定されれば5単位修得したことになります。本校を卒業するためには、88単位以上修得する必要があります。

*○印は選択科目です。

*教育課程は変更することがあります。

*「総合的な探究の時間」は年間を通して週1時間相当の単位数を行います。

年間学習計画

2020 Syllabus



吉祥女子中学・高等学校

〒180-0002

東京都武蔵野市吉祥寺東町 4-12-20

☎ 0422(22)8117

高校 1 年 組 番 氏 名
